

●教習所の皆様

ありがとう

私は今年の6月から普通自動車の免許を取得するために地元の自動車教習所に通っています。



社会人になってからの免許取得ということで、仕事帰りに連日通ったり、土日は朝から一日通ったりとなかなか大変です。

仕事帰りに疲れた体で教習所へ行く、受付の方をはじめ職員の方々が元気にあいさつをしてくれまして、疲れを感じていた私も元気にあいさつをされると、「よし、頑張ろう。」という気になります。

こんな様子を両親に話したら少し驚いていました。

両親の世代が免許を取得していたころの教習所と言えば、殿様商売とでも言うのか顧客対応が良くなかったようです。

「最近では免許取得者数も減って来まして、教習所の経営も大変なのかな・・・昔みたいに殿様商売をやっているのはもうお客さんが来なくなってしまうのだらうなあ。」

と両親は感じているようでした。確かに、教習所の経営が大変で顧客サービスを充実させた結果が今のあいさつを生み出したのかもしれない。

しかし、私にとってはどんな理由で行われているにせよ、元気にあいさつをしてもらえらるおかげで教習を気持ちよく受けさせてもらっています。

職員の皆さま、いつも気持ちのよいあいさつをありがとうございます。おかげさまで今月中には無事卒業できそうです。

(横浜市/M・K)

●満州の中国人の方々

ありがとう

私の母方の祖母の人生は恋多い波瀾万丈なものでした。

岡山の旅館の一人娘として生まれ、両親の決めたいいなづけの男性がいやで家出同然で家を出たそうです。

そして金持ちの文学青年と恋に落ちて女の子を授かりました。ところが青年は体が弱く若くして亡くなってしまったそうです。

まだ若かった祖母は後ろ髪をひかれつつもその女の子を青年の父母に



預けて家を出たそうです。(その女の子は著名な文学作家となりました。その方は母の姉です。)

家を出て九州の料亭に勤めている時に出会ったのが私の母方の祖父。炭鉱主で資産家、政治家の祖父でした。

祖父との間に母が生まれました。昭和初期の資産家の祖父には本妻さん他何人も女性がいたそうです。自分以外の女性と関係を持つ祖父に祖母はいやげがさして満州に逃げたそうです。

一方、私の母は祖父の元においていかれたものの、裕福な祖父にとっても大切に育てられました。それはそ

れで良かったのでしょうか・・・？満州に逃げた祖母の元に祖父は満州にある自分の鉄道会社の支店の社員を通して何度も帰って来るように・・・。と連絡が来たそうです。が、祖母は祖父の女性関係に耐えられなかったそうです。そのまま満州で生活をはじめました。そして出会ったのが最後の夫、帝国憲兵隊長で私にとつての二人目の祖父でした。

祖父はやさしい人で純粋な人だったそうです。祖母と祖父は恋におちました。

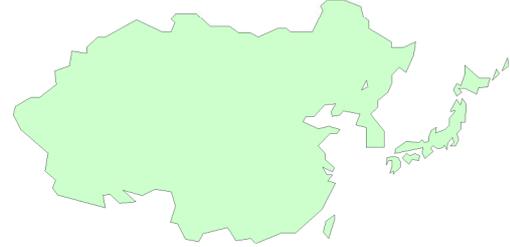
祖父は中国人の信頼も厚く、中国人の方を逃がしてあげたり困った人がいたら上層部に内緒で優しくしていたそうです。

そして迎えた終戦・・・。祖父も他の軍関係者、将校達と逮捕拘束されてしまいました。

多くの軍関係者が犯した罪状で処刑されてゆく中、ある日、地元で中国人が大挙して裁判所を訪れてきました。

「Dさんは悪いことをしていない。私たちを助けてくれた」と訴えてくれたそうです。釈放されて出て来た祖父を迎えた祖母・・・。中国の方への恩は一生忘れなないと感謝したそうです。

帰国して祖父母はなかよく幸せに暮らしました。残念なのは二人の間



●いなかの家族に

ありがとう

に子供が出来なかつた事です。祖母亡き後も祖父は私に実の孫のように接してくれました。母にも同様に娘のように。

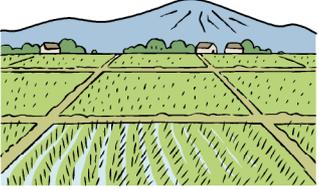
祖父も亡くなり、今二人は郷里の仙台の自家のお墓で親戚に囲まれて幸せそうに眠っています。祖母は本当に良い人に出会えて幸せだったと思います。

そして祖父を助けてくださり生かしてくださった中国の方に心からありがとうと言いたいです。

(横浜市/Y・T)

今年、お盆で帰省したとき、夫は何か小言でもいわれるのかと少々不安な気持ちもあつたようですが、そんなことにはひと言もふれず、楽しいひと時を過ごさせてもらったうえ、お米や野菜などもたくさん持たせてくれたことに夫は感謝していました。

遠いいなかから見守ってくれる家族に、私も心からありがとう。



(神奈川/S・W)

●孫にありがとう

孫が先日来ました。
「おばあちゃん。九州のおばあちゃんの所へ行きたいからこの袋の小銭を両替してくれない？銀行休みだし。」



「わかんないけど30000円でいいや」といいます。
私の心に50000円あげようかな？もっとあげようかな？という心が出て来ましたが、よく考えて「わかった30000円あげよう。それとこの50000円でおばあちゃんにお土産を買って行きなさい。」とお金をあげました。
後日銀行で両替してみると一万円じゃありませんか。
負担をかけまいと謙虚な孫の心使いに感動しました。私はずれくって帰ってきたらお小遣いをあげようかな。

(目黒区/N・S)

●息子にありがとう

私は離婚をし、娘と息子を夫の元において東京に戻ってきました。
私は今タクシーの運転手をしています。
一昨年私の元に18才の息子が追っかけてやってきました。
九州の元夫の義理のお母さんは私を責めるでもなくおだやかにそれを認めてくれたので感謝しています。
息子は上京して飲食店でアルバイトをしていましたが、今年から正社員になることも出来ました。
息子は私を気遣い毎月5万円の生

活費をいれてくれるようになりまし

た。
しかし最近友人が出来たのか、だんだん入れてくれるお金が少なくなり、今月は入れられないから待って欲しい。
九州のおばあちゃんの所へ行って友達に会いたい。と言います。
東京に来た際に錦を飾れなければ帰って来るなという祖母との約束だったので、帰る理由も動機も私には納得が出来ないものでした。

挙げ句に帰る前日、「品川駅まで送ってくれ」と言います。私は思わず「お母さんの車は仕事の車なのだから代金は自分で払いなさい」と冷たく言い放つてしまいました。
その事を友人で同僚の男性に話すと「気持ちよく送り出してあげなよ。彼だって色々考えがあるさ。信じてあげなよ。」といわれしじぶ息子を送りに行きました。
その夜、家に帰るとテーブルの上に2万5千円のお金が。
やさしい息子にありがとう。そして同僚のXさんありがとう。

(目黒区/R・S)

●産んでくれてありがとう

両親と同居してからのこの約十年、いろんな波風が立って親子で顔を合わせるのも嫌になるほどの険悪な雰囲気になってきた。
なまじ長男に生まれたばかりに、自分の立場を呪うこともあったけれど、信仰をもったおかげさまで、自分の心得違いに気づかせてもらえた。
七十代半ばになり体も小さくなっ



●両親にありがとう

てきた両親は、口もきかない息子にどれほど心を痛めたことだろう。
絵にかいたような仲の良い親子にはまだなれない。
でも、親が元気なうちに少しは孝行の真似ごともしたいという気持ちで芽生え、これから少しずつでも家族の絆を取り戻せたらと願っている。
まだ言葉にしては伝えられないし月並みだけれど、産んでくれてありがとう。

(東京/T・H)

私の両親はだいぶ前に他界し、その後私は住み慣れた家に住んでいますが一昨年売却して今一人暮らしをしています。
私は子供の頃から病気がちでした売却して家を離れた直後、食道静脈瘤の手術をし、他の臓器にも問題が多々発見されて今でも生きているのが不思議なくらいなのです。

私のお金は妹たちが管理してくれています。そして病気の私を友人達が支えてくれて。とても感謝しています。
そして何より病気の私が老後を不自由なく暮らせるほどの財産を残してくれた両親。
そして何度もの手術に耐えられる体をくれた両親に感謝しています。

私が生きていくのには意味があるのだなと感じます。そして私は家族や友人に支えられていきているのだなと心から感じる日々です。
ありがとう。

(目黒区/H・T)



【携帯 Deショット】
サルスベリ(百日紅)がジリジリと照りつける熱暑を受けて鮮やかな紅色の花が毎日開き、広い庭をひときわ賑やかにしています。
7月初旬から10月初旬まで咲き続けるサルスベリは真夏の花。ツルツルとした樹皮に蟬は止まれるのかな？

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から全国の友人知人から寄せたいだいなことばに因んだ思いを、短文、詩、絵、句、短歌、写真、絵画などを掲載します。
作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、ささやかではございますが、オリジナル「ありがとうマガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。
皆様からのご投稿をお待ちしております。
また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。
ご意見やご提案がございましたら是非お聞かせください。



- 携帯電話の方はQRコードから
●パソコンの方は下記のURLから
http://1039.seesaa.net/
●メールでのご投稿は...
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部